

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和5年4月20日(木) NO3 文責 ^{きした}木下 ^{ふみあき}文秋

阿蘇品先生の話

離任式に阿蘇品勇先生のお話を聞く機会がありました。阿蘇品先生は再任用の先生で、退職後本校で5年間勤務していただき、最後の年は3年生の数学をご指導くださいました。とてもお元気で来年も三股中に残って欲しいとお願いしましたが、ご家庭の都合で再任用退職をされました。阿蘇品先生が離任式で最後に話された内容に、私はとても心を引き付けられました。「授業中に手をあげて発表したり意見を述べたりすることは、とても緊張するし恥ずかしいものです。でもそのことは自分にとってとても大切なことです」という内容です。文字で表現すると薄っぺらくなりますが、ベテランの先生から伺う話はとてもインパクトがあって心に響きました。一番感動したことはとても短く飾らない言葉でわかりやすく生徒に話をされたことです。話をする時には、欲張ったらダメなんだと痛感しました。まだまだ教師の先輩から学ぶことはたくさんありました。ところで、教室を見て回ると一年生のクラスで生徒が自己紹介をする場面にたくさん出会います。自分のことについて話をする姿を廊下から見てみると、指先が震えていたり、表情がこわばっていたり、とても緊張感が伝わります。自分は緊張して頭が真っ白になっているのですが、周りの生徒は笑顔でよく話を聞いていることが分かります。新しい仲間のことに興味があるのだろうと思います。多くの仲間の前で自分のことを語ることは本当に勇気がいることですが、その経験はとても大事だということを阿蘇品先生は話されたのだと思います。相手に自分のことを伝えることはとても大事なコミュニケーションです。嫌なことはNoということ。嬉しいことはありがとうということ。簡単そうですが実は難しい。それが上手に使いこなせず、心配したり苦勞している人がいると思います。人にはみんな得手不得手があるのですが、大事なことは、難しい言葉は使わずに、素直に自分の思いを伝える努力をすることだと思います。そんな経験で人は成長していくのだと思います。人前で話をするのが苦手な人でも大丈夫です。自分が思っている以上に、世の中はうまくいくことがあります。明日は参観日。勇気をもって発表できるといいですね。

